

能登半島地震による文化財被災状況調査



輪島市上時国家(重要文化財)



中能登町雨ノ宮古墳(史跡)

石川考古学研究会ブログから抜粋・追加修正

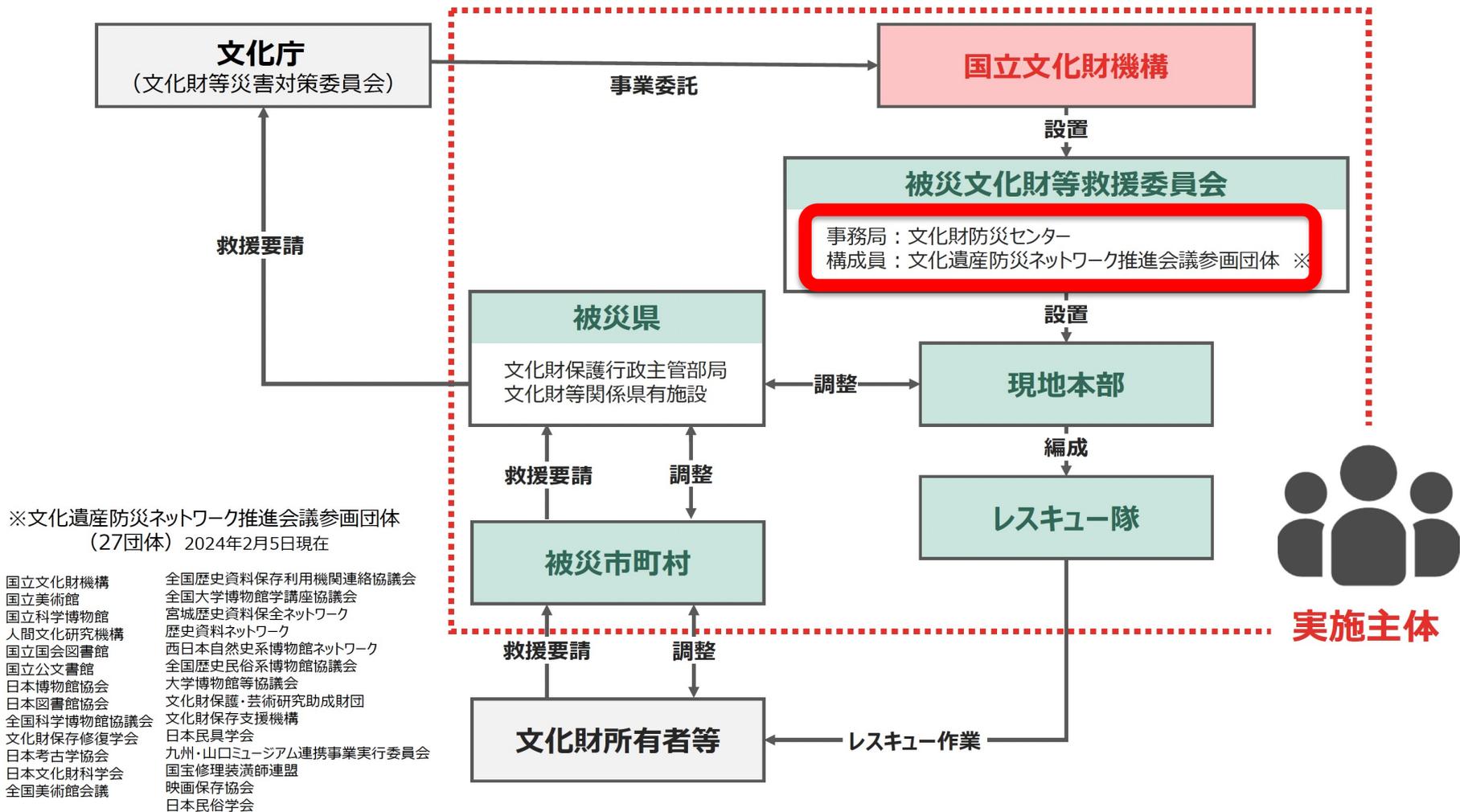
- 1/1 能登地方に最大震度5強、4分後に震度7を観測
- 1/2 会員の安否確認開始。1/31まで実施。
- 1/9 日本考古学協会に震災概要を報告。
- 1/20 能登の会員から被災状況の報告。
- 1/23 県の関係機関による連絡協議会に参加
- 1/25 小嶋会長・河村副会長・足立幹事が県文化財課で
救援体制の構築について提案。
- 2/12 **七尾市金比羅宮の文化財レスキュー。**
- 2/16 **文化財防災センターから救援事業について説明。**

- 2/17以降 石川考古学研究会と共同の活動開始

- 3/17以降 金沢大学の独自活動も開始

令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）

文化財の廃棄・散逸を防止するため、主に国指定等以外の文化財（動産文化財）を対象として、緊急に保全措置を必要とする動産文化財及び美術品を対象に、救出、応急措置し、博物館等において一時保管を実施



石川考古学研究会の活動内容

遺跡被災状況調査

遺物の保管状況確認(市町管理、個人所有)

博物館の被災状況確認(展示室、収蔵庫)

指定文化財の被災状況調査(神社・仏閣、古民家、石碑など)

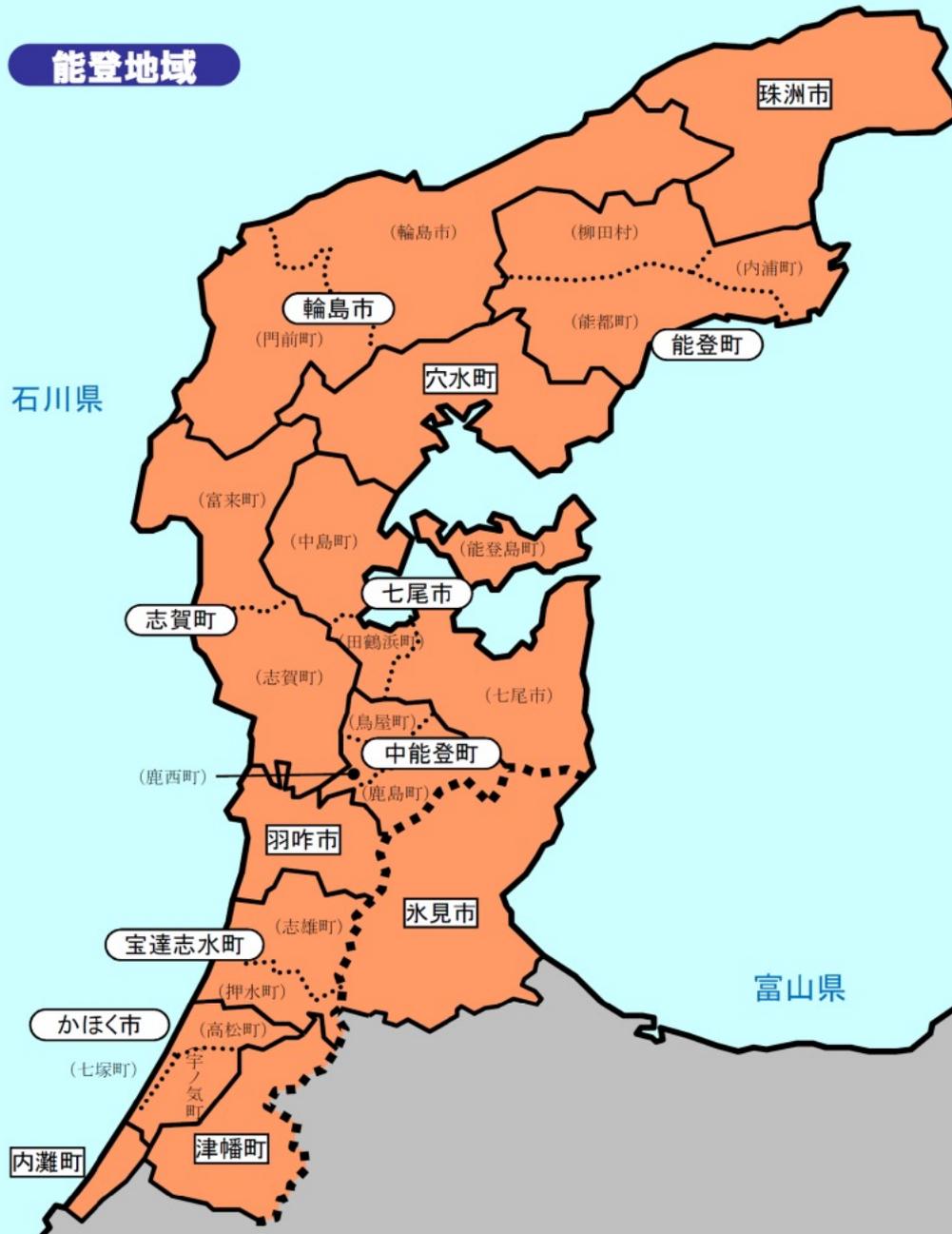
未指定文化財の被災状況調査、リスト作成

金沢大学としての活動

被災状況の3Dモデル記録、被災文化財のデジタルアーカイブ化を実施するため、文化庁の助成金を申請。

申請のための協力関係の構築。

能登地域





羽咋市での調査

4/6以降 羽咋市歴史民俗資料館を拠点としての活動開始

古墳脇に出現した横穴状の遺構を調査(石川考古学研究会ブログ)



中能登町での調査

3/18 金沢大学資料館との連携を打ち合わせ

3/20 石動山(国の史跡)の調査、石垣の被災状況を確認



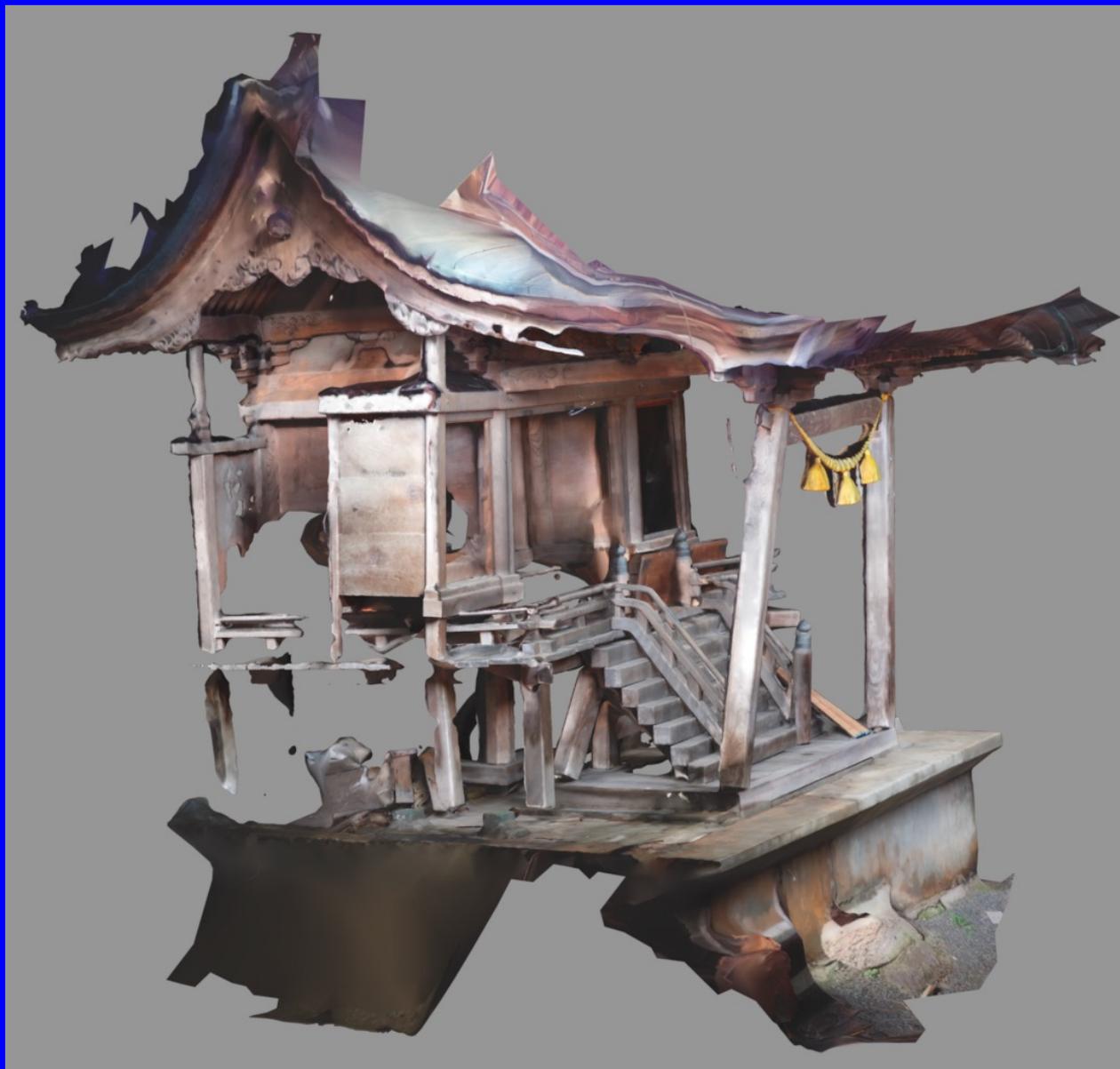
中能登町 雨ノ宮古墳(国の史跡)の被害状況(石川考古学研究会ブログ)。



中能登町での調査 4/6 山城、古墳、窯跡の調査



七尾市での調査 2/12 金刀比羅神社のレスキュー



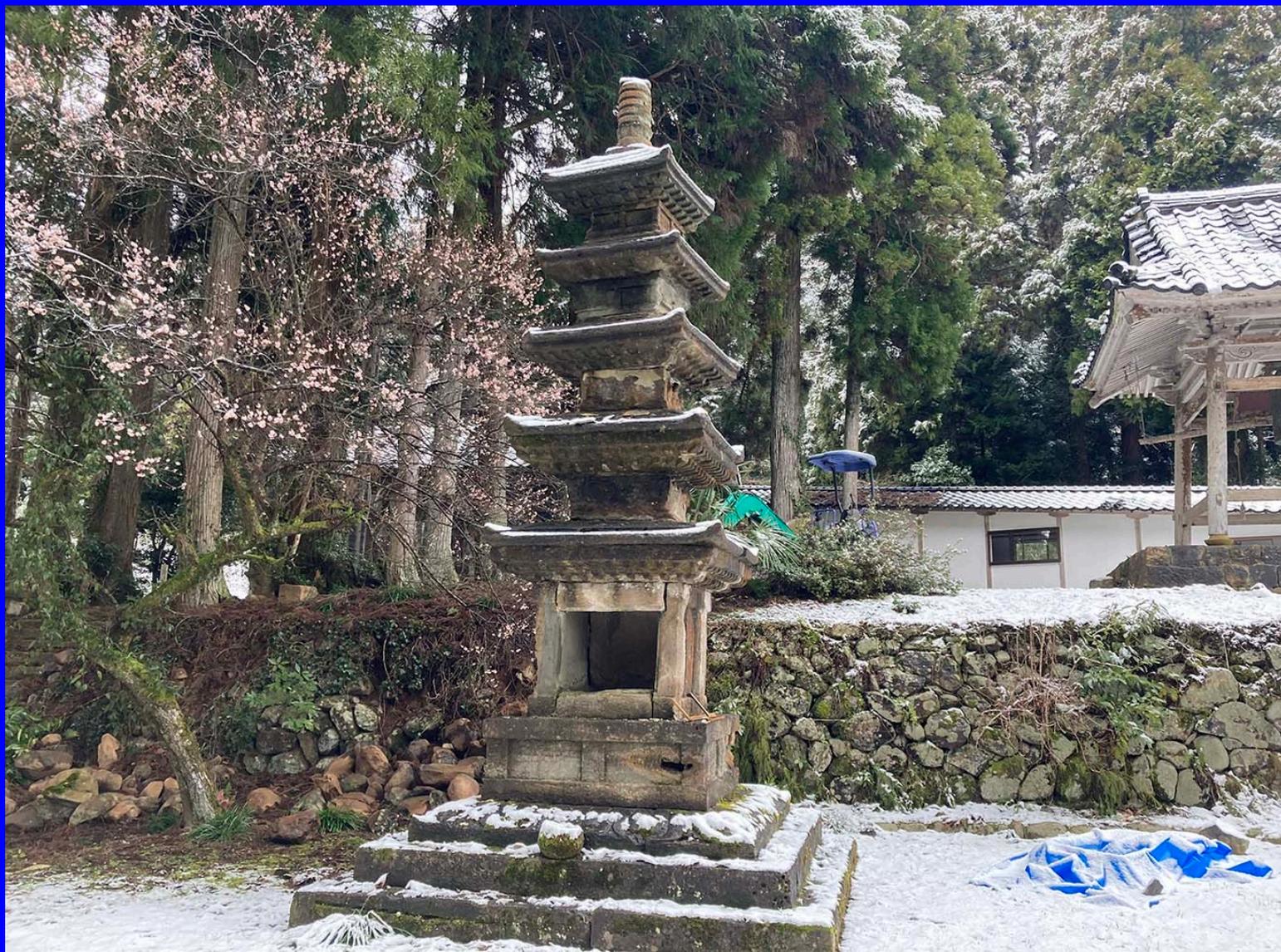
七尾市での調査 2/12 金刀比羅神社の3Dモデル、失敗。
文化財防災センターによって建物も解体レスキューされた。



志賀町での調査 3/2 千浦二子塚古墳群(町指定文化財) 石室
が崩落 4/28に埋め戻し予定



志賀町での調査 3/2 雄谷家(石川県指定文化財、江戸中期後半)、4/15に土蔵整理を学生と手伝う。



穴水町での調査 3/10 明泉寺石造五重塔(国指定重要文化財、室町前期)、上部がずれている。



輪島市での調査 3/10 上時国家(国指定重要文化財、1857年)¹⁵



輪島市での調査 3/17 旧西保小学校倉庫。被災状況(石川考古学研究会ブログ)。



輪島市での調査 2/24 白山神社石造五重塔（県指定文化財）
を目指すが、土砂崩れで断念。



能登町での調査 3/26 松波城(国の名勝)、町指定部分に大きな土砂崩れ。



珠洲市での調査 2/17 珠洲焼資料館、被災状況確認。昨年5月の地震後に震災対応を実施していたので、被害は軽微。



珠洲市での調査 2/17 黒丸横穴墓、被災状況確認。横穴が露出している。

今後の喫緊、中長期的な視野での文化財支援活動

喫緊の支援活動

輪島市、珠洲市の文化財被災状況確認

中期的な支援活動

1年以上の期間を考えた支援計画。

被災文化財の収蔵庫の整備

長期的な支援活動

各市町に総合的な博物館施設を設立。

災害時の拠点となる博物館施設。

今後の金沢大学としての支援活動

古墳の石室や中世の石塔などの復元には、事前に被災状況を記録することが必要、そのための**文化財の3Dモデル記録**

→正確で短時間での三次元測量技術の研究

文化財収蔵庫の修復

→再度、被災しないための工夫が必要

大量に集められた民具類の洗浄、計測

→ボランティアに対する文化財教育

文化庁 令和6年度 Innovate MUSEUM事業

能登半島地震被災文化財デジタルアーカイブ事業

